

議会活動

◇2023年9月定例議会で質問しました。

【1】中国の水産物輸入停止の影響を問う

1 中国政府は日本の水産物輸入を8月24日から全面的に停止した。当地の水産事業者への影響は

【答弁】**教育部長** 宇和島で養殖されるシマアジやクロマグロ等も中国等に輸出されている状況。中国については、7月からの日本産の輸入食品に対して、放射性物質検査を強化してきたため、養殖魚等の水産物について、放出前から実質的に輸出ができなくなっていたことから、既に他国や国内に仕向け先を変更して対応してきた。また、香港、マカオにつきましては、本県は輸入禁止の対象地域となっていないことから、現時点では、流通量の減少や単価の下落といった大きな影響は出ていないと承知している。しかしながら、問題の長期化により、風評被害の拡大等による国内外の取引や価格に影響が出るのが懸念をされ、その動向を注意する必要があると考えている。

2 対応策は

【答弁】**市長** 処理水に伴う問題については、やはり国がしっかりとその責任を果たしていただきたいなと思っております。国は今、政策パッケージとして、消費拡大であるとか、生産の維持の対策であるとか、いろいろと組まれているところで、支援をいただけるものと思っているところでございますが、市としては、パッケージの中でそれを活用し、やっていくか、関係団体として連携しながら検討していかなければならないと思っています。

一方で、要望活動につきましては、この8月24日に、中国が輸入規制というところで声を大にしてきたところでございますけれども、翌日25日に、県の水産関係団体が水産庁長官に対して、魚類養殖業の経営安定に関する要望活動、これに私、長谷川代議士とともに同行させていただきました。現地のお声というものを届けさせていただきました。

そして、9月5日におかれましては、全国市長会における水産都市連絡協議会がやはり同じく緊急要望というものをしているところでございます。

また、市として、それら要望活動には加わっているところでございますけれども、具体的に何かというところではないですけれども、こういった国の動向というものを注視しながら、しかるべき対応をしっかりとやっていきたい。そのように考えている次第でございます。

【2】人口減少対策について(子育て支援)

1 「いっばいあるけんー」わじま子育て応援記事について所感を問う

【答弁】**市長** 今年度から国は、異次元のそういった政策というものを出してくるという話でございましたけれども、市としては、議員の皆様方のお力添えを得ながら、これまででも着実に一つ一つ子育て環境の整備というものは行ってまいりました。

ただ、皆さんからも御指摘があったとおり、それらの発信というものが十分ではないんだ、特に、私も議会での視察に伺ったときには、やはりその自治体のちよつとがっているような、そういったところにやはり注視をして、そこでの資料を見たときに、非常に分かりやすさというものを感じていたところがございました。

そういった意味で、明石市の資料もそうですし、我々としても、全体を並べるとおしなべて非常に分かりにくい資料になっていくところを、市として、やっぱりかいつまみながら、目玉となるようなものをしっかりとピックアップをして、そして、そこにもまず目を向けていただいて、さらに、深掘りをしていただくきっかけというものになればという思いで、今回は、まず一端として、結婚、出産そして子育てに特化して、そういった流れというものをしっかりとらせていただきました。

今後とも、こういったやっていることは、しっかりと市民の皆様方にお知らせしていくことが重要であると考えておりますので、そういった思いで続けていきたいと、そのように考えている次第です。

【質問】6月の岡山議員の子育て支援策の充実についての質問に、「今後においても、この地域で幸せや夢を語ることができるよう、そういった奇をてらった施策をしっかりと構築していきたいと考えています」と答弁された。あれから3か月、どのような奇をてらった政策を構築しようと思っておられるか。

【答弁】**市長** 我ながら抽象的な答弁だったなと今反省をしているところでございますけれども、全般的に今、考慮・検討はしておりますけれども、今ここでたちまち申し上げる状態にないのが現実でございます。

【主張】例えば、東京の港区は、中学校の3年生の修学旅行はシンガポール3泊5日、1人当たりの費用が60万を超えるというような政策選択をしています。それに対して、いろんな識者がとても有効な投資だと、これこそが投資だというようなコメントを出したりしている方もおられますが、宇和島の場合は新しい伊

1 畑枝川の明渠化・親水ポケットパーク整備の評価は

2 畑枝川とその支流大池川の暗渠解消の今後の方針を問う

【5】医師の働き方改革への対応について問う

【主張】医師をはじめとする医療者が健康で安心して働ける環境を整えることで、より良い地域医療を持続可能な形で提供するための働き方改革であるという趣旨。

1 医師の労働時間の把握はできていますか

2 2024年4月の時間外労働の上限規制の適用に向け、医師の確保(地域医療提供体制の確保)はどうか

【質問】時間外労働の上限規制についてもクリアできるのと、これはお尋ねせずに、少々問題があるとお聞きした看護師確保の観点で、看護師不足の深刻さという点についてお尋ねをします。それによって、病床数の削減はお考えでしょうか。看護師さんが不足すると、病床を減らさなきゃならないということになりますか。

【答弁】**病院事業管理者** 今、看護師さんの不足は当然なので、特にコロナの問題で休まにやいかん。それとあとは、産休・育休とか、そういった人がたくさんいて、なかなか大変です。それで、将来の人口動態とか考えて、やっぱりどこかでは減少させていかないと。そういうのは絶対必要になってくると思います。今、33床なんですけれども、1病棟50床単位なので、1病棟どこかで減らさないと考えています。それは、絶対いづれ今は必要じゃなくても、いずれに、10年後には絶対必要になるし、それはどこでやるかというのは、また今後の課題だと思っています。

【主張】秋田県では、二次医療圏が8個に分割されていたのを3つにする必要があることを県医師会の会長が発言されました。それぐらい圏域人口が減っているわけです。そして、医療の質の確保のために、そして機能分担の範囲を広げていかないと、機能を受け持ってくれる病院の確保ができないという理屈です。地元理解も必要ですので、これがどうなるかというのは、それは県単位の審議になるのかと思うんですが、なかなか厳しい時代になると思っています。

3 2024年入学の学生から「モデル・コア・カリキュラム」の中に「医療提供体制と医師の働き方」等の項目が加わる。

達博物館に50億使って、毎年1億5,000万以上の収支差額のある施設を一方で建てようとしているのですから、子どもに對してお金を使うという意識は、私はもって持っていたいと提案します。海外経験のできない家庭もあります。そういう方に行く機会というのをつくるのは、とても有効だと思います。ぜひに政策を変えていただきたい。

また、学力トップの小さな町が石川県にあります。私塾が充実していない町ですから、町の事業でほとんど勉強させています。学力が第一なんて、言うつもりはありません。しかし、こういう選択もあると思います。

大阪府、高校無償化を決定しました。午前中に、東京の私立大学に行けたという話がありました。そういう方はかりじゃないのです。親がそう思えば、そういうチャンスを選択できるのです。以前、親ガチャという言葉を使いましたが、この自治体に生まれたら、二つという経験をさせてもらえるんだというまち、それがとんがったというか、奇をてらったものと思うのです。二番煎じかもしれませんが、そういう発想を持っていたいただきたいと思います。

2 中学校の給食費の支援拡大はしないか

【答弁】**市長** 現在、子育て世帯を対象にいたしました給食費負担軽減事業というもののいわゆる1食当たり100円補助というものは実施をしているところでございます。議員御指摘のとおり、周辺でも、二つで、近いところでは愛南町が、この議会で無料化というものをしようとするところの上程をしているということを聞き及んでいるところでございます。この給食の件につきましては、これまでも繰り返し答弁を申し上げてきたところでございますけれども、やはり慎重に判断していかねばならないと考えているところでございます。現在、それらを実施するところは計画していないところでございます。

3 給食費の無償化にいくらかかるか

【答弁】**教育部長** 生活扶助や就学援助費から賄われる世帯を除いて試算をしたところ、概算で約1億7,000万円必要となります。

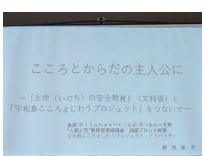
【質問】現在の100円補助の額は含まれていますか。

【答弁】**教育部長** 100円補助の分は含まれていません。

【主張】つまり、100円補助を5,000万とすると、給食費の無償化は1億2,000万でございます。先ほどの伊達博物館の収支差額幾らでしょうか、市民の皆さん、それと比べていただきました。そういう数字だと認識いただきたいと思います。

これから仲間になる若い医療関係者は、そういう学修目標を以て学んで加わってほしい。それらへの対応は、

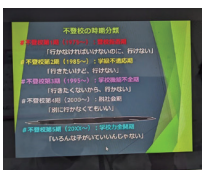
【答弁】**病院事業管理者** 私が医者になった頃は、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革といった概念はありませんでした。外科の手術で100%というのはあり得ないことなので、術後、どんな不測の事態が起こることが分かりません。だから、土日、昼夜問わず病室を訪ねて、顔を合わせて、患者様やその御家族との信頼関係を築くことに努めるのは当たり前と思っていました。時間外という概念、感覚はありませんでしたし、医師の免許取りたての頃から、みんな頑張って、ただ知識の取得、技術の向上に努める日々でした。素直に、時代は変わったなと思っています。何の職についても同じだと思います。働くということは、時にしんどいことがあると思いますけれども、新たな学びを経て、お迎えすることが出来る若い先生方の価値観を尊重して、彼らの期待に応えることのできる職場環境の整備に努めていかねばならないと考えております。



宇和島こころまじあうプロジェクト



座禅



不登校になりたくてなる子はいない 研修



宇和中高齢者駅伝区間賞



学校茶道合同茶会



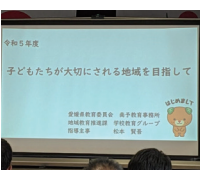
八幡様祭礼、栄町港愛護会



一宮様顔田彦



岡山大学愛媛半田山会



少年補導委員秋期研修

○詳細は、宇和島市議会のホームページにてご確認ください。

○発言者の名前や発言内容(単語等)で検索できます。

また、議事録も公開公開ホームページにあります。

ご意見、お問い合わせは、

【1】中国の水産物輸入停止の影響を問う

1 中国政府は日本の水産物輸入を8月24日から全面的に停止した。当地の水産事業者への影響は

【答弁】**教育部長** 宇和島で養殖されるシマアジやクロマグロ等も中国等に輸出されている状況。中国については、7月からの日本産の輸入食品に対して、放射性物質検査を強化してきたため、養殖魚等の水産物について、放出前から実質的に輸出ができなくなっていたことから、既に他国や国内に仕向け先を変更して対応してきた。また、香港、マカオにつきましては、本県は輸入禁止の対象地域となっていないことから、現時点では、流通量の減少や単価の下落といった大きな影響は出ていないと承知している。しかしながら、問題の長期化により、風評被害の拡大等による国内外の取引や価格に影響が出るのが懸念をされ、その動向を注意する必要があると考えている。

2 対応策は

【答弁】**市長** 処理水に伴う問題については、やはり国がしっかりとその責任を果たしていただきたいなと思っております。国は今、政策パッケージとして、消費拡大であるとか、生産の維持の対策であるとか、いろいろと組まれているところで、支援をいただけるものと思っているところでございますが、市としては、パッケージの中でそれを活用し、やっていくか、関係団体として連携しながら検討していかなければならないと思っています。

一方で、要望活動につきましては、この8月24日に、中国が輸入規制というところで声を大にしてきたところでございますけれども、翌日25日に、県の水産関係団体が水産庁長官に対して、魚類養殖業の経営安定に関する要望活動、これに私、長谷川代議士とともに同行させていただきました。現地のお声というものを届けさせていただきました。

そして、9月5日におかれましては、全国市長会における水産都市連絡協議会がやはり同じく緊急要望というものをしているところでございます。

また、市として、それら要望活動には加わっているところでございますけれども、具体的に何かというところではないですけれども、こういった国の動向というものを注視しながら、しかるべき対応をしっかりとやっていきたい。そのように考えている次第でございます。

4 1-8歳までの医療費の無償化拡大についてどう考えるか

【答弁】**市長** 1-8歳までの医療費無償化につきましては、やはりこれは本来国が画的にやるべきだと、私はそのように確信をしております。

宇和島におきましては、先ほど申されたとおり、今年5歳まで、中学校3年生までのそれが今年3年目にちょうど入ったところでございます。

それらを決定する説明の中におきましては、やはり財政負担等々の御心配の声もあったことでございますので、議場でも申し上げた、やはり注視をしていかなければならぬだろう、何年かはその動きを見ていかなければならぬだろうということをお申し上げたことを記憶しております。

担当は、この2年、そして今年度も、その数字は注視をしているところでございますので、それらをしっかりと検討しながら、しかるべきタイミングで判断していくべきものだと、そのように考えている次第でございます。

5 医療費無償化を1-8歳まで拡大にかかる費用は

【答弁】**保健福祉部長** 現行の子ども医療費の実績等による試算で、対象を1-8歳まで拡大した場合の影響額は、現時点で約4,100万円と試算をしております。

【主張】4,100万という、伊達博物館の収支差額と比較したら内輪です。給食費ただにして+4,000万。つまり、両方無償化できます。

【3】都市再生整備計画の評価と定量化した指標について

1 第1期都市再生整備事業の評価を問う

2 第2期都市再生整備事業の目標を定量化した指標について説明を求め

3 同計画(1期)の高質空間形成施設：市道の美装化の対象である道路の管理(緑地の管理も含め)はどう在るべきか問う

4 同計画(2期)の社会福祉施設の支援満足度90%を実現するための具体的計画は

【4】都市再生整備計画の今後について